

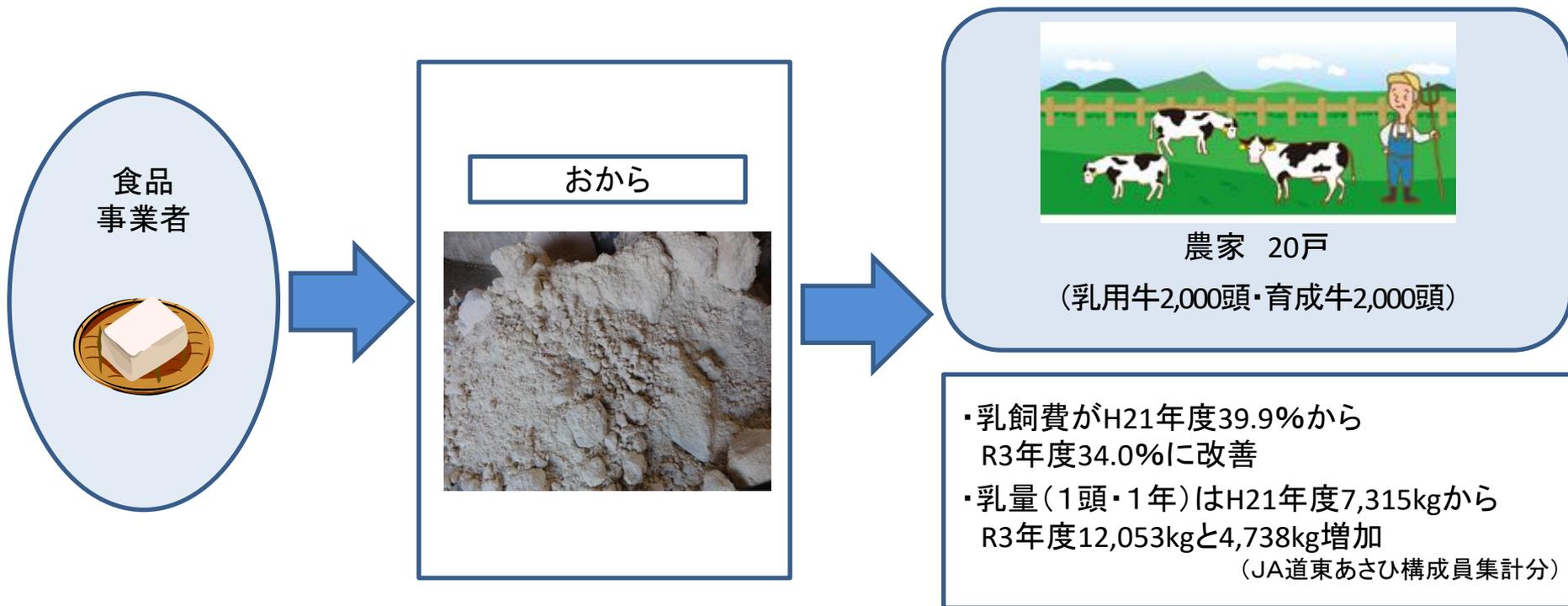
エコフィードの取組事例 【乳用牛】

エコフィード利用組合 EARTH

(北海道野付郡別海町)

エコフィード利用組合 EARTHでは、地域で発生するおからを利用し、TMRを生産。粗飼料とエコフィードなどを配合し、飼料自給率向上の取組を推進。

原料	おから	原料収集先	食品製造工場4件(道内、道外)
原料収集量	5,000トン/年	エコフィードタイプ	発酵TMR
エコフィード製造方法	混合・発酵	エコフィードの利用畜種	乳用牛・育成牛
エコフィード製造量	20,000トン/年		
エコフィードの譲渡先	酪農家20戸		





小泉牧場

(東京都練馬区)

小泉牧場では、近隣の豆腐屋より、おからを自ら収集し、乳用牛に給与している。また、生産された生乳をアイスクリームに加工し、「アイスミルク」として、直売店で販売。教育ファーム認定農場であり、地域への貢献度が高い。

畜種	乳用牛	飼養頭数	酪農: 搾乳牛19頭、育成牛6頭
エコフィードタイプ	混合利用	エコフィード給与量	23.7トン/年(混合割合23.3%)
エコフィード入手状況	自家配合	食品残さ収集先	豆腐屋(東京都、埼玉県)
エコフィード原料	豆腐粕(おから)	畜産物卸先	直販、農協等
畜産物生産量	飲用乳 255L/年 アイス 0.7トン/年		

近隣の豆腐屋から
おからを収集。



豆腐粕(おから)



【小泉牧場】



収集したおからは、専用容器に保管し、給与時に専用バケツに粗飼料やふすま等と混合して、乳牛に給与。



畜産物は市場を介して東京牛乳として流通。
アイスクリームに加工し、直売店で、「アイスミルク」として販売。



(株)松永牧場

(島根県益田市)

(株)松永牧場では、食品残さを自ら収集・サイレージ化し、肉用牛(繁殖、肥育)や乳用牛に給与している。また、常駐している獣医師が、収集された残さの内容に合わせて生産性に留意した配合設計を行っている。加えて、飼養規模が大きいため、食品リサイクルの実施による地域への貢献度も高い。

畜種	肉用牛(一貫経営)、乳用牛	飼養頭数	養牛:繁殖牛1,600頭、肥育牛8,900頭 酪農:搾乳牛2,200頭
エコフィードタイプ	サイレージ	エコフィード給与量	15,500ト/年 (混合割合:肥育牛10~40%、乳牛50%)
エコフィード入手状況	自家配合	食品残さ収集先	食品工場等(西日本)
エコフィード原料	おから、焼酎粕、ジュース絞り粕、野菜屑、余剰食品(フルーツ、そうめん)等		
畜産物生産量	出荷頭数3,800頭/年(肉用牛) 飲用乳23,500千L/年	畜産物卸先	スーパー(四国、関東地域)、飲食店等

西日本から
食品残さを収集。

フルーツ

焼酎粕

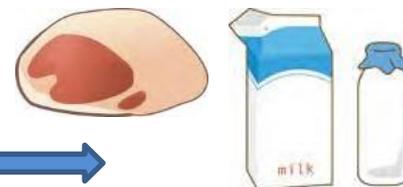
そうめん

【(株)松永牧場】



収集した食品残さは、飼料用米等を混合してサイレージ化し、市販配合飼料とともに肉用牛、乳牛に給与。

エコフィードを利用する他、ソーラーパネルの導入など環境にも配慮。



畜産物は市場を介して広く流通。都内焼き肉店(当牧場と同名の焼き肉店「松永牧場」等)に提供する他、地元スーパー「キヌヤ」では、「まつなが牛」としてブランド化。また、益田市の飲食店「ちる亭」で加工した牛丼も販売。